

# 新型コロナウイルス感染防止策による大会運営進行について

はじめに

令和2年6月22日付、岐阜県ハンドボール協会より示された『新型コロナウイルス感染症に対応したハンドボール競技会におけるガイドライン』に基づき、東海社会人ハンドボール選手権大会における感染拡大予防の方針を示すものです。各チーム参加者及び運営スタッフ、施設管理者等が安全に最大限留意し、大会を開催していただけますようお願いいたします。

## 1 大会参加の注意点

- ①以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
  - ・37.5℃以上の熱がある場合
  - ・大会2週間前から体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ②マスクを持参する。
  - ・参加受付や着替え等の競技を行っていない際や、会話をする際にはマスクを着用する。
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ④他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に[最低1m]）を確保する。  
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- ⑤大会中に大きな声での会話、応援等をしない。
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
- ⑦大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

## 2 当日会場入り

- ①車の乗り合いは極力避ける。
- ②会場入りする全員の名簿を作成し体温を記入する。
  - ・開催地用名簿に各チームで作成。名簿シートは別紙を大会本部で準備する。
- ③入場待ちの際は入口付近に滞らないで速やかに入場する。
  - ・入場時間を日程スケジュールに添付し、案内する。
- ④各チームで消毒液を準備し、入場前に手消毒を行う。
- ⑤入場後は速やかに観客席に上がり座席の間隔を空けて座る。
- ⑥ロビーでミーティングをしない。
- ⑦更衣室は、出来るだけ使用しないように工夫する。

## 3 ウォーミングアップ

- ①屋内アップはコート内で行う。アップの時間は、各チーム試合前のみとする。（15分）
- ②屋外は周囲の状況を確認し、大会参加者以外との接触の可能性が高い場所では行わない。  
屋外でのボールの使用は禁止する。

- ③ 練習中のチームによる声かけ・声出しはしない。
- ④ ランニング、フットワーク等は、前後左右に十分な距離・広さを保ち行う。

#### 4 試合

- ① 扉や窓をでき得る限り常時開放して行う。
- ② タイムスケジュールに従いコートに入る。
- ③ MO・TD・スコアラー・タイムキーパー・得点板係・モップ係はマスクを着用する。
- ④ 交代地域では極力間隔をあけて着席しマスクを着用する。必要以上の会話や大声での応援・戦術的指示はしない。
- ⑤ 試合終了後は、当該チームで椅子、ゴール等の消毒を行いコートにモップをかける。窓を開けて換気する。
- ⑥ 前試合の選手が退場後に次の試合時間の選手が入場する。
- ⑦ 複数の人が触るクーラーボックスの使用は避け、飲料用のボトルやタオルは共用しない。
- ⑧ 出血等の処置については、従来どおりビニールの手袋等を使用し密封して廃棄する。

#### 5 試合終了後

- ① ゲームの合間には一斉に換気を行う。
- ② 試合ごとに交代地域、ボールおよび使用する用具（A～D、TOカード等）を消毒する。
- ③ 次の試合まで待ち時間がある場合は、会場を出て待機する。（自家用車等）
- ④ 会場から退出する際は、各チームで使用した観客席等の消毒を行う。
- ⑤ シャワー室は、使用禁止。更衣室は、出来るだけ使用しないように工夫する。